

事例 1 久山町研究（福岡県久山町）

1 久山町研究が始まったきっかけ

1960 年にローマの世界神経学会で報告されたデータによると、日本の脳血管疾患による年間死亡率は世界 33 か国のなかでもっとも高く、さらに日本では脳出血の割合が欧米に比べて突出して高い統計結果が出ており、日本の死亡統計の信憑性に疑問が投げかけられたことによる。

当時の日本には検証するための科学的なデータが無かったため、久山町の住民が全国平均とほぼ同じ年齢・職業分布を持っており、偏りの少ない平均的な日本人集団であることから、地域における脳卒中の実態を調べることを目的として、1961 年から久山町研究が開始された。

2 久山町研究の概要

- ・場 所：福岡県粕屋郡久山町（人口 8,075 人：2007 年 1 月 1 日現在）
- ・開 始 年：1961 年（※九州大学医学部第二内科等の共同研究として始まる）
- ・対 象：40 歳以上の男女
- ・登 録 数：第 1 集団 1,621 人（1961 年～）
第 2 集団 2,038 人（1974 年～）
第 3 集団 2,637 人（1988 年～）
第 4 集団 3,500 人（2002 年～）
- ・検査項目：アンケート調査、食事調査、身体測定（身長、体重、皮下脂肪厚、握力）、尿検査、
血圧測定、血液検査、貧血検査、糖負荷試験、心電図、眼底検査、問診

3 久山町研究の特徴

- ・悉皆性：40 歳以上の全住民を対象としている
- ・追跡率：99%以上（これまでに追跡不可能となったのは僅かに 3 名のみ） など

4 ご案内

平成 26 年度福岡市保健衛生大会

特別講演 認知症をいかに予防するか ～ 久山町研究からのメッセージ～

日 時：平成 26 年 12 月 3 日（水） 講演開始 15:20～

会 場：福岡市役所 15 階講堂

定 員：先着 350 名（申込不要）

事例2 長寿社会のまちづくり（千葉県柏市）

柏プロジェクトUR柏豊四季台団地内 サービス付き高齢者向け住宅

1 柏市（平成26年10月1日現在）

- ・人口：408,198人
- ・高齢化率：23.4%
- ・介護保険認定率：13.9%

2 取組み

（1）産官学の協力による「柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会」

① 経過

平成21年6月：柏市、東京大学、UR都市機構の三者で研究会を発足

平成22年5月：三者協定を締結

② 目的

柏市…超高齢化に対応したまちづくりの具体化

東京大学高齢社会総合研究機構…システム・技術の研究・開発と世界への発信

UR都市機構…今後の団地のあり方の検証



（2）研究会がめざすまちの姿

① いつまでも在宅で安心して生活できるまち ～在宅医療の普及～

- ・柏地域医療連携センター開設（H26.4.1）
- ・在宅医療に対する負担を軽減するバックアップシステム（主治医と副主治医とが相互に協力して訪問診療を提供する）の構築
- ・高齢者の住まいと多様な医療・介護サービスの提供（H26 初旬に運営開始予定）
- ・「在宅医療・介護多職種連携柏モデル ガイドブック」の作成（H26.3.17）

② いつまでも元気で活躍できるまち ～高齢者の生きがい就労の創生～

- ・休耕地を利用した都市型農業事業
- ・コミュニティ食堂
- ・学童保育事業（学童＋塾）